コンピューターの準備

HP ノートブック コンピューター

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2012 年 4 月

製品番号：684098-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1 ようこそ

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の手順を実行することが重要です。

1. 有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、14 ページの「ネットワーク」を参照してください
2. ウィルス対策ソフトウェアを更新します。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。このガイドを表示する手順については、3 ページの「情報の確認」を参照してください。
3. リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成します。詳しくは、30 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください
4. コンピューター本体を確認します。詳しくは、5 ページの「コンピューターの概要」および17 ページの「キーボードおよびポインティング デバイス」を参照してください。
5. [**スタート**]→[**すべてのプログラム**]の順に選択して、コンピューターにすでにインストールされているソフトウェアを確認します。

新機能

HP Beats Audio

[HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオプロファイルです。[HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています。

▲ [HP Beats Audio]の低音設定を有効または無効にするには、fn + b キーを押します。

注記： 低音設定の表示および調整は Windows®オペレーティング システムで行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します。

以下の表に、fn + b キーを押したときに表示される[HP Beats Audio]アイコンおよびその意味を説明します。

アイコン	説明
	[HP Beats Audio]は有効に設定されています
	[HP Beats Audio]は無効に設定されています

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	内容
コンピューターのセットアップの手順のポスター	• コンピューターのセットアップ方法 • コンピューターの各部の名称
『コンピューターの準備』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• コンピューターの機能 • 以下の内容に対する各手順： 　◦ 無線ネットワークへの接続 　◦ キーボードおよびポインティング デバイスの使用 　◦ ハードドライブおよびメモリ モジュールの交換またはアップグレード 　◦ バックアップおよび復元の実行 　◦ サポート窓口へのお問い合わせ • コンピューターの仕様
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 電源の管理機能 • 以下の内容に対する各手順： 　◦ バッテリ寿命の最大化 　◦ コンピューターのマルチメディア機能の使用 　◦ コンピューターの保護 　◦ コンピューターの手入れ 　◦ ソフトウェアの更新
[ヘルプとサポート] [ヘルプとサポート]にアクセスするには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。 **注記：**　日本でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• オペレーティング システムの情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • トラブルシューティング ツール • サポート窓口へのお問い合わせ手順
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 規定および安全に関する情報 • バッテリの処分に関する情報

リソース	内容
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/ （英語サイト）から[日本語]を選択します	• 正しい作業環境の整え方 • 快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン • 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』（日本以外の国や地域の問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください） この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト 日本でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• サポートに関する情報 • 部品の購入に関する情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • コンピューターのオプション製品に関する情報
限定保証* この保証を表示するには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択するか、http://www.hp.com/go/orderdocuments/ （英語サイト）から**[日本（日本語）]**を選択します	保証に関する情報

*お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されている電子マニュアルまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/ でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間（サービス ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

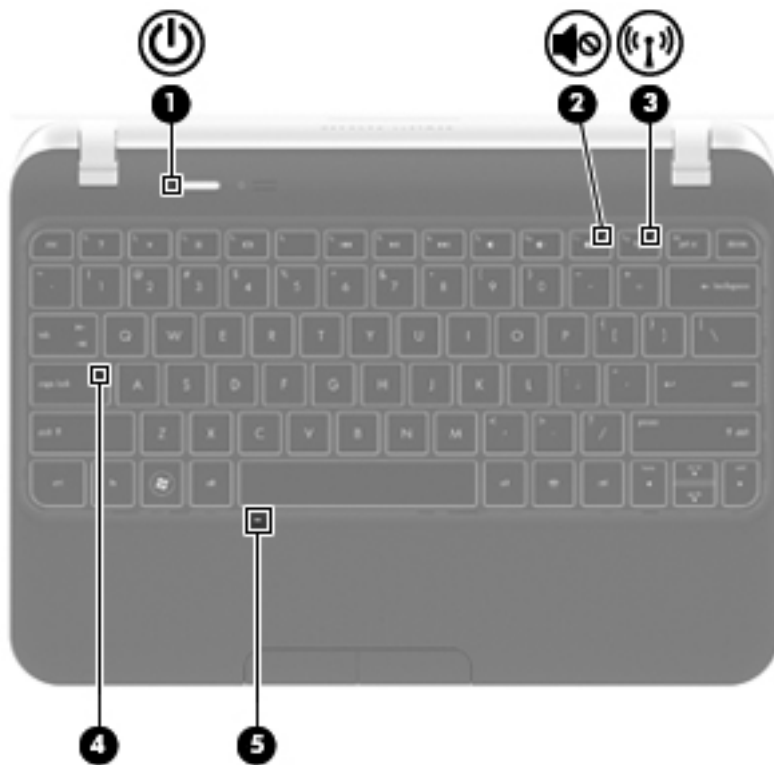
重要： 上記の住所にお使いの HP 製品を返送しないでください。日本でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください

2　コンピューターの概要

表面の各部

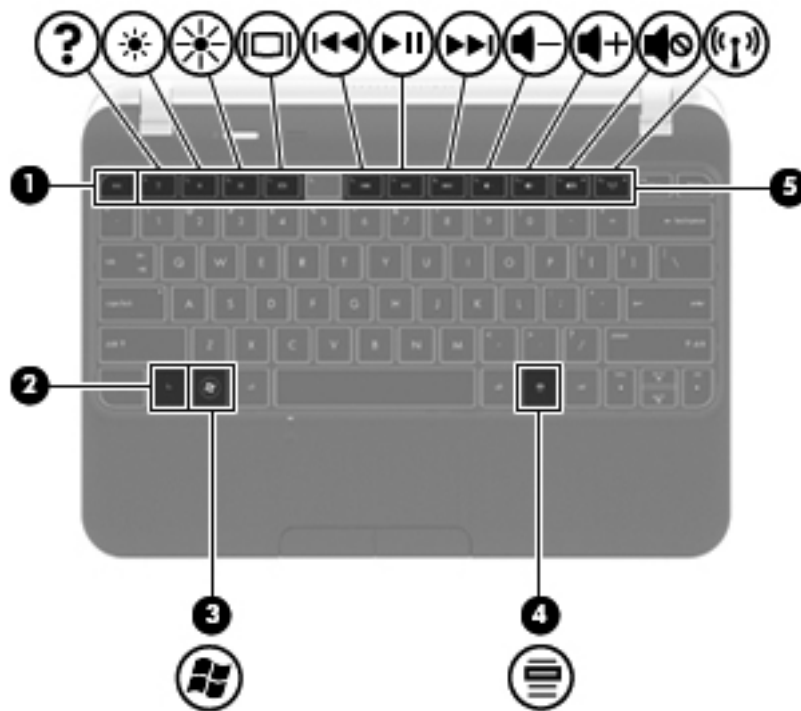
タッチパッド

名称		説明
(1)	タッチパッド ランプ	• 点灯:タッチパッドがオフになっています • 消灯:タッチパッドがオンになっています
(2)	タッチパッド オン/オフ切り替え機能	タッチパッドをオンまたはオフにします。タッチパッドをオンまたはオフにするには、タッチパッドの左上隅のエリアをすばやくダブルタップします
(3)	タッチパッド ゾーン	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ

名称			説明
(1)		電源ランプ	• 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(2)		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています • 消灯：コンピューターのサウンドがオンになっています
(3)		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています • オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(4)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(5)		タッチパッド ランプ	• 点灯：タッチパッドがオフになっています • 消灯：タッチパッドがオンになっています

ボタン

名称			説明
(1)	⏻	電源ボタン	• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります • コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます • コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します • コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します 注意：　電源ボタンを押し続けると、保存されていない情報は失われます コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程押したままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**電源オプション**]の順に選択するか、または『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
(2)	🌐	Web ブラウザー ボタン	コンピューターが Microsoft® Windows を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します

キー

名称			説明
(1)		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー	b キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)		Windows アプリケーション キー	カーソルを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(5)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します

前面の各部

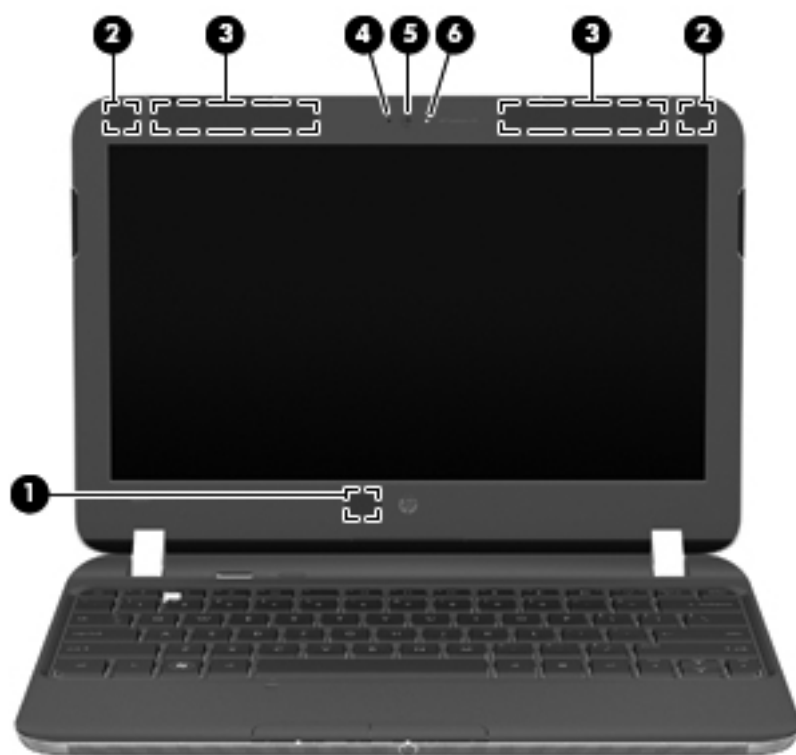
名称	説明
スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部

名称			説明
(1)		メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています ● マルチメディアカード ● SD（Secure Digital）カード ● SDHC（Secure Digital High-Capacity）カード ● SDXC（Secure Digital Extended Capacity）カード
(2)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売または市販の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(3)		オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売または市販のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(4)		USB 2.0 コネクタ（×2）	別売の USB 2.0 デバイスを接続します
(5)		外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(6)		RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

左側面の各部

名称			説明
(1)		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(2)		AC アダプター/バッテリ ランプ	● 白色 : コンピューターは外部電源に接続されています。バッテリが取り付けられている場合、そのバッテリは完全に充電されています ● オレンジ色 : コンピューターは外部電源に接続され、バッテリが充電中です ● 消灯 : コンピューターは外部電源に接続されていません ● 点滅 : コンピューターがスリープ状態になっています
(3)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記 : セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記 : 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		ハードドライブ ランプ	● 白色で点滅 : ハードドライブにアクセスしています ● オレンジ色に点灯 : [HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時停止しています 注記 : [HP 3D DriveGuard]について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
(6)	HDMI	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(7)		USB 3.0 コネクタ	別売の USB 3.0 デバイスを接続します。拡張された USB の強力なパフォーマンスが引き出されます

ディスプレイの各部

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れるかスリープが開始します 注記： ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(4)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(5)	Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラを使用するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Communication and Chat]**（通信とチャット）→**[CyberLink YouCam]**の順に選択します
(6)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

裏面の各部

名称			説明
(1)		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(2)		SIM スロット（一部のモデルのみ）	無線 SIM（Subscriber Identity Module）カードに対応しています。SIM スロットは、バッテリ ベイの中にあります。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
(3)		バッテリ/底面カバー ラッチ	バッテリをバッテリ ベイから取り外したり、コンピューターから底面カバーを取り外したりするときに使用します
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		底面カバー	ハードドライブ、メモリ モジュール スロット、SIM スロット（一部のモデルのみ）、および無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）モジュールが格納されています

3 ネットワーク

注記： インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

お使いのコンピューターは、以下のどちらか 1 つまたは両方のインターネット アクセスに対応できます。

- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。15 ページの「既存の無線 LAN への接続」または16 ページの「新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ」を参照してください。
- 有線：有線ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。有線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

インターネットに接続する前に、ISP のアカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業へのサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

以下の機能で、新しいインターネットのアカウントを作成するか、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定できます。

- **Internet Services & Offers（一部の地域で利用可能）**：このユーティリティでは、新しいインターネット アカウントのサインアップを実行したり、既存のアカウントを使用できるようにコンピューターを設定したりできます。このユーティリティにアクセスするには、[**スタート**]→[**すべてのプログラム**]→[**Shopping and Services**]（ショッピングおよびサービス）→[**Get Online**]（インターネットに接続）の順に選択します。
- **ISP 提供のアイコン（一部の地域で利用可能）**：これらのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されるか、「オンライン サービス」という名前のデスクトップ上のフォルダーに格納されています。新しいインターネット アカウントをセットアップする、またはコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定するには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows のインターネットへの接続ウィザード**：以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。
  - すでに ISP のアカウントを持っている場合
  - インターネット アカウントを持っていないためウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
  - 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

  Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびこのウィザードの使用手順を表示するには、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]の順に選択します。

注記： ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス
- HP モバイル ブロードバンド モジュール、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス
- Bluetooth デバイス

無線技術および無線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、[ヘルプとサポート]の情報、および Web サイトへのリンクを参照してください。

既存の無線 LAN への接続

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
3. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。

4. 接続先となるネットワークを選択します。

5. [**接続**]をクリックします。

6. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ

以下の機器が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）（**2**）
- お使いの新しい無線コンピューター（**3**）

注記： モデムは内蔵ルーターに含まれている場合があります。ISP に問い合わせてモデムの種類を確認してください。

下の図は､インターネットに接続している無線 LAN ネットワークの設置例を示しています。お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは､ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供されている情報を参照してください。

Windows オペレーティング システムでは、新しい無線ネットワークのセットアップに役立つツールも用意されています。Windows のツールを使用してネットワークを設定するには、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]→[**新しいネットワークのセットアップ**]の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。

注記： 最初にルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できたら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスできます。

無線 LAN の保護

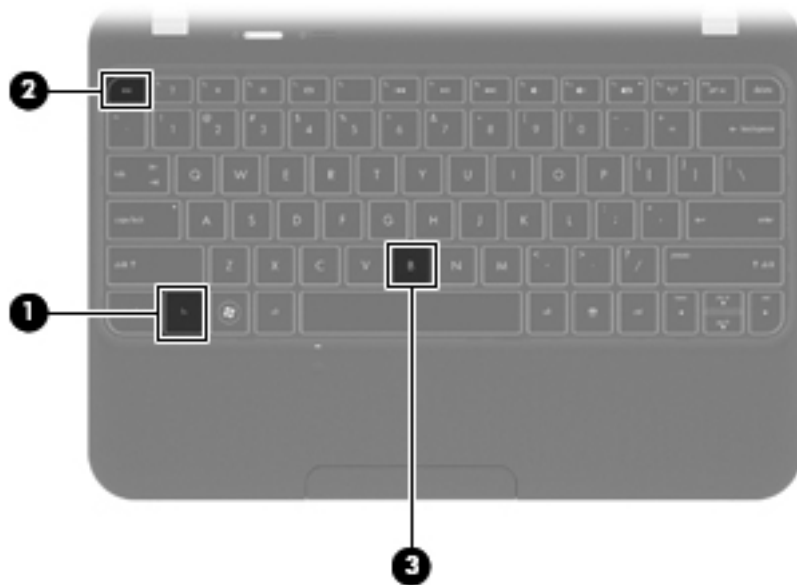
無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。

無線 LAN の保護について詳しくは､『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

4　キーボードおよびポインティング デバイス

キーボードの使用

ホット キーの位置

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）または b キー（**3**）の組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲　fn キー（**1**）を短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

ホットキーの組み合わせ	説明
fn + esc	システム情報を表示します
fn + b	[HP Beats Audio]の低音設定を有効または無効にします（一部のモデルのみ） [HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ プロファイルです。[HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています 低音設定の表示と調整は Windows オペレーティング システムでも行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します

操作キーの使用

操作キーを押すと、割り当てられている機能が実行されます。f1～f4 および f6～f12 の各キーのアイコンは、操作キーに割り当てられている機能を表します。

操作キーの機能を使用するには、そのキーを押したままにします。

操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にできます。セットアップ ユーティリティ（BIOS） を開いたときの手順については、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』の「セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断」の章を参照し、画面下部の説明に沿って操作してください。

操作キーの機能を無効にした後で割り当てられた機能を有効にするには、fn キーを適切な操作キーと組み合わせて押します。

⚠ **注意：** セットアップ ユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

アイコン	キー	説明
?	f1	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューターに関する情報、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターへのアップデート ファイルなどが提供されます また、自動トラブルシューティング ツールおよびサポート窓口へのアクセスも提供されます
	f2	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	f3	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります

アイコン	キー	説明
	f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。この操作キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	f6	オーディオ CD の前のトラック、または DVD や BD の前のチャプターを再生します
	f7	オーディオ CD のトラック、または DVD や BD のチャプターを再生、一時停止、または再開します
	f8	オーディオ CD の次のトラック、または DVD や BD の次のチャプターを再生します
	f9	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	f10	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	f11	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	f12	無線機能をオンまたはオフにします 注記： 無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります

ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ポインティング デバイスの設定、ボタンの構成、クリックの速度、およびポインター オプションをカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[**スタート**]→[**デバイスとプリンター**]の順に選択します。次に、一覧からお使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[**マウス設定**]を選択します。

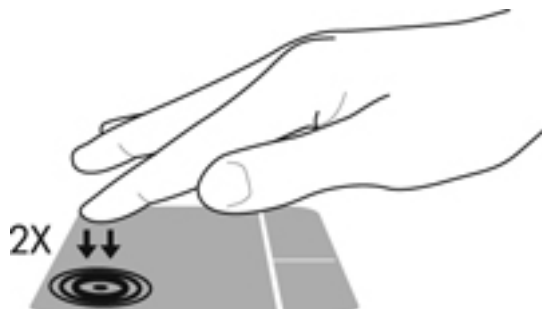
タッチパッドの使用

注記： お使いのコンピューターのタッチパッドは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。お使いのコンピューターのタッチパッドに関する固有の情報については、5 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスのボタンと同様に機能します。

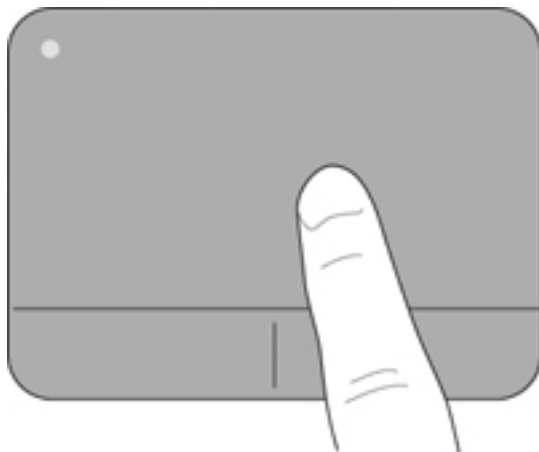
タッチパッドのオフ/オンの切り替え

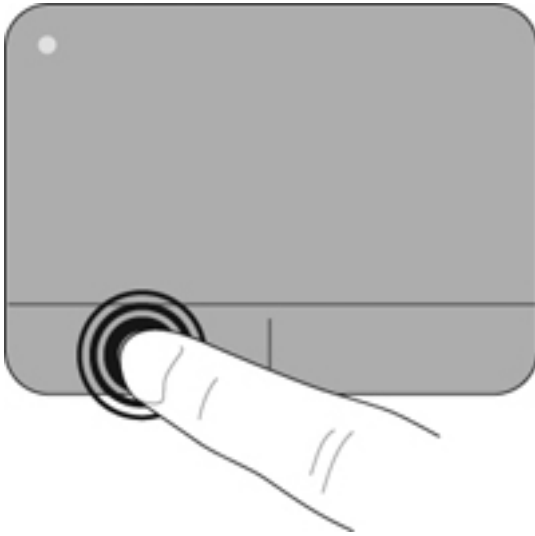
タッチパッドをオフまたはオンにするには、タッチパッドの左上隅のエリアをすばやくダブルタップします。

注記： タッチパッドがオンになっているときは、タッチパッド ランプが消灯しています。

タッチパッド ランプおよび画面に表示されるアイコンは、タッチパッドがオフまたはオンになっているという状態を示します。以下の表に、画面に表示されるタッチパッドのアイコンおよびその意味を説明します。

	アイコン	説明
オレンジ色		タッチパッドがオフになっていることを示します
消灯		タッチパッドがオンになっていることを示します

移動

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。

選択

タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスの対応するボタンと同様に機能します。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。タッチパッド ジェスチャを使用するには、2 本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

注記： プログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Synaptics]**（シナプティクス）→**[Settings]**（設定）の順に選択します。
2. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

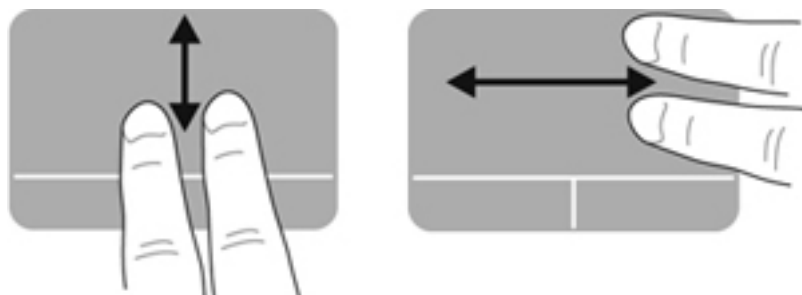
ジェスチャのオン/オフを切り替えるには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Synaptics]**→**[Settings]**の順に選択します。
2. オンまたはオフにするジェスチャの横にあるチェック ボックスにチェックを入れます。
3. **[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下左右に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

注記： 2 本指スクロールは、出荷時に有効に設定されています。

ピンチ/ズーム

ピンチを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

- タッチパッド上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームインできます。
- タッチパッド上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウトできます。

注記： ピンチ/ズーム ジェスチャは、出荷時の設定で有効に設定されています。

5 メンテナンス

バッテリの着脱

注記： バッテリの使用方法について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

バッテリの装着

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

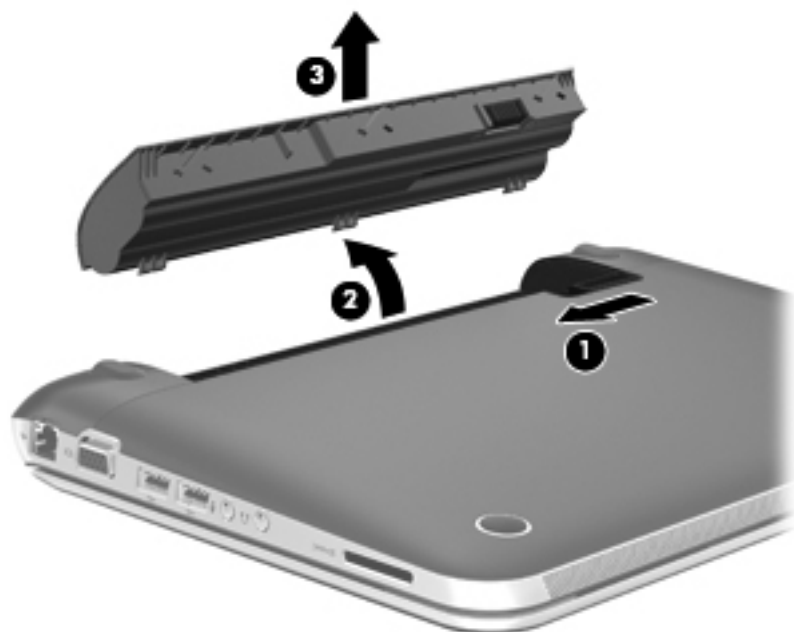
▲ バッテリをバッテリ ベイの外側の縁に合わせてから（**1**）、バッテリを回転させるようにしてバッテリ ベイに挿入し（**2**）、しっかりと収まるまで押し込みます。

バッテリの取り外し

バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

注意： コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

1. バッテリ/底面カバー ラッチをスライドさせて（**1**）、バッテリの固定を解除します。

2. バッテリを回転させるようにして引き上げて（**2**）、コンピューターから取り外します（**3**）。

ハードドライブの交換またはアップグレード

⚠ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

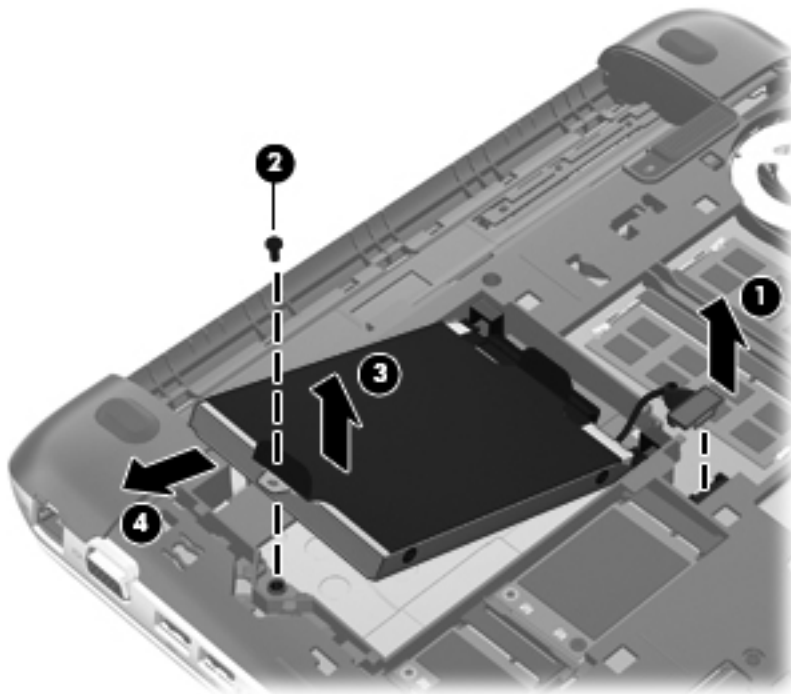
ハードドライブの取り外し

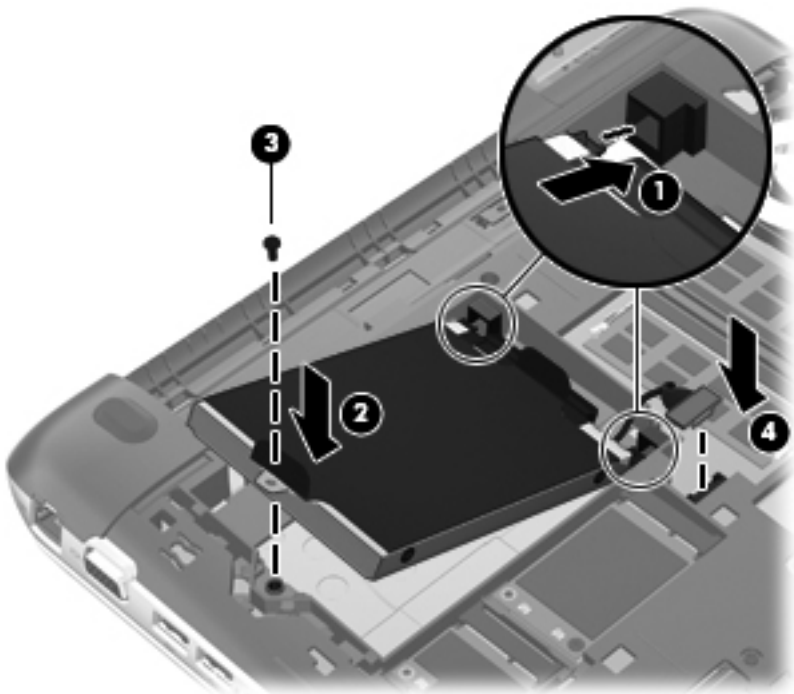
1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。
4. 一方の手でバッテリ/底面カバー ラッチをスライドさせて（**1**）、底面カバーの固定を解除し、同時にもう一方の手で底面カバーを押し下げて、カバーをコンピューターの前方に向けてスライドさせます（**2**）。

5. 底面カバーを持ち上げて取り外します（**3**）。

6. ハードドライブ ケーブル コネクタを持ち上げて（**1**）、コンピューターから取り外します。

7. ハードドライブをコンピューターに固定しているネジ（**2**）を取り外します。

8. ハードドライブ タブを引き上げ（**3**）、ハードドライブを傾けながらハードドライブ ベイから取り出します（**4**）。

ハードドライブの取り付け

1. ドライブのゴムのスペーサーをハードドライブ ベイの開口部に挿入します（**1**）。
2. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**2**）。
3. ネジ（**3**）を取り付けなおします。
4. ハードドライブ ケーブル コネクタを接続します（**4**）。

5. 底面カバーをコンピューターに向かって下ろし（**1**）、バッテリ ベイの方向にスライドさせて、バッテリ/底面カバー ラッチがカチッと音がするまで押し込んで固定します（**2**）。

6. バッテリを取り付けなおします。

7. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

8. コンピューターの電源を入れます。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには、2 つのメモリ モジュール スロットが装備されています。コンピューターのメモリ容量を増やすには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： 2 つ目のメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2 つのメモリ モジュールを必ず同一のものにしてください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールを追加または交換する前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。

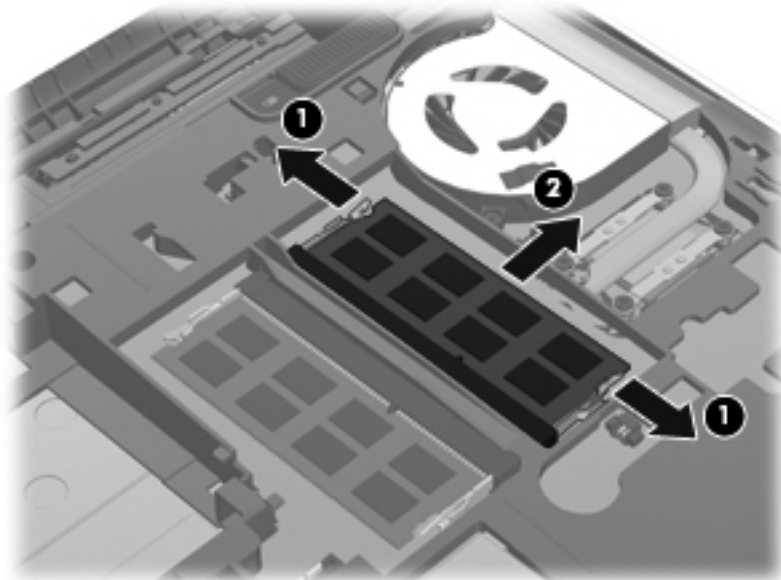
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。

4. 底面カバーを取り外します（24 ページの「ハードドライブの取り外し」を参照してください）。

5. メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。

   a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。メモリ モジュールが少し上に出てきます。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上にメモリ モジュールを引き抜いて（**2**）取り外します。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

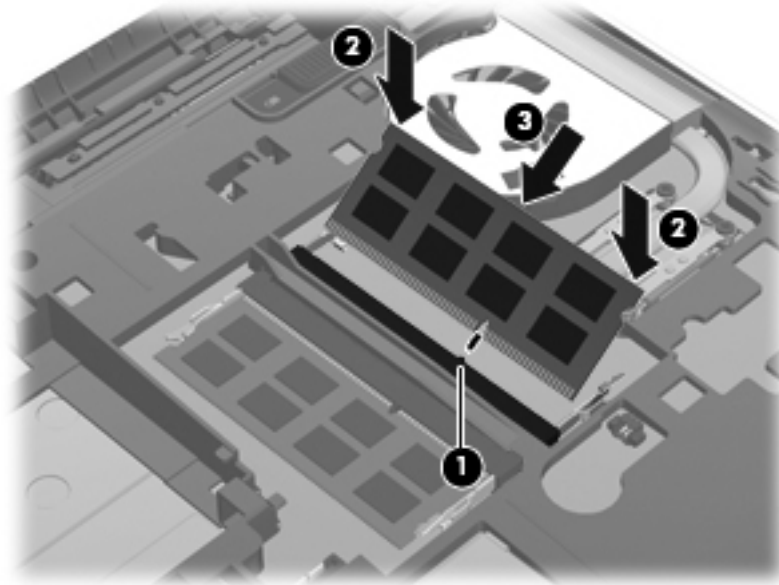
6. 以下の手順で、メモリ モジュールを取り付けます。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

b. しっかりと所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込みます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

7. 底面カバーを取り付けなおします（26 ページの「ハードドライブの取り付け」を参照してください）。

8. バッテリを取り付けなおします。

9. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

10. コンピューターの電源を入れます。

6 バックアップおよび復元

お使いのコンピューターには、オペレーティング システムに付属のツールおよび HP が提供しているツールが含まれています。これらを使用すると障害の発生に備えて情報を保護したり、障害が発生した場合に保護しておいた情報を取り出したりできます。

バックアップの作成

1. 作業しているコンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用してリカバリ メディアを作成します。
2. ハードウェアおよびソフトウェア プログラムを追加するときは、システムの復元ポイントを作成します。
3. 写真、動画、音楽、およびその他の個人用ファイルを追加するときは、システムおよび個人情報のバックアップを作成します。

元のシステムを復元するためのリカバリ メディアの作成

コンピューターを正常にセットアップしたら、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用してリカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成してください。これらのリカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、ハードドライブが破損した場合にシステムの復元を実行するために必要になります。システムの復元を実行すると、元のオペレーティング システムが再インストールされた後、工場出荷時にインストールされていたプログラムの設定内容が再構築されます。

確認しておくべきこと

- リカバリ メディアは 1 セットのみ作成できます。リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。
- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）はコンピューターを検査して、フラッシュ ドライブの容量がどれだけ必要か、または空の DVD ディスクがいくつ必要かを判断します。

  DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、DVD+R DL ディスクまたはフラッシュ ドライブを使用してください。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。
- お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを入手できます。外付けオプティカル ドライブを使用する場合は、USB ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに直接接続する必要があります。

- コンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、リカバリ メディアの作成を開始してください。
- 作成処理には最大 1 時間以上かかる場合があります。作成処理を中断しないでください。
- リカバリ メディアはコンピューターとは別に、安全な場所に保管してください。
- 必要に応じて、リカバリ メディアの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、リカバリ メディア作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リカバリ メディアの作成

1. ［**スタート**］を選択し、検索フィールドに「`recovery`」と入力します。一覧から［**Recovery Manager**］（リカバリ マネージャー）を選択します。確認のメッセージが表示されたら、作業の続行を許可します。
2. ［**Recovery Media Creation**］（リカバリ メディアの作成）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作を続行します。

復元するには、34 ページの「[HP Recovery Manager]を使用した元のシステムの復元」を参照してください。

システムの復元ポイントの作成

システムの復元ポイントは、[Windows System Restore]によって保存された特定の時点でのハードドライブの内容のスナップショットです。復元ポイントには、Windows が使用するレジストリ設定などの情報が含まれます。以前の復元ポイントに復元すると、その復元ポイントの作成後にシステムに加えられた変更を取り消すことができます。

以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント作成後に保存されたり作成されたりしたデータ ファイルや電子メールには影響がありませんが、インストールされていたソフトウェアには影響が及びます。

たとえば、デジタル カメラから写真をダウンロードしてから、コンピューターを前日の状態に復元した場合、写真はコンピューターに残ります。

しかし、写真表示ソフトウェアをインストールしてからコンピューターを前日の状態に復元した場合は、ソフトウェアはアンインストールされて使用できなくなります。

確認しておくべきこと

- 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。
- 以下のようなシステムの復元ポイントを作成する必要があります。
  - ソフトウェアまたはハードウェアを追加/変更する前
  - コンピューターが正常に動作しているとき（定期的に行います）
- システムを復元すると、最後の復元ポイント作成後に変更されたファイルのシャドウ コピーも保存されます。シャドウ コピーを使用して復元する方法について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの作成

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. [**作成**]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

復元するには、33 ページの「以前のシステムの復元ポイントへの復元」を参照してください。

システムおよび個人情報のバックアップ

お使いのコンピューターには、ファイル、電子メール、写真などのあなたにとって大切な情報が保存されています。これらは、たとえ誤ってウィルスをダウンロードしてしまったりシステムが正常な動作を停止したりした場合でも、正常な状態で保持しておきたい情報です。ファイルをより完全に復元するためには、より新しいバックアップが必要です。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にバックアップを作成する必要があります。

正しいバックアップのためのヒント

- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、バックアップ ディスクに番号を付けておいてください。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]、[音楽]、[画像]、および[動画]ライブラリに保存し、これらのフォルダーを定期的にバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーン ショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をもう一度入力する必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

スクリーン ショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

   アクティブなウィンドウだけをコピーするには、alt ＋ prt sc キーを押します。

   画面全体をコピーするには、prt sc キーを押します。
3. ワープロ ソフトなどの文書か、または画像編集プログラムを開き、[**編集**]→[**貼り付け**]の順に選択します。画面のイメージが文書に追加されます。
4. 文書を保存して印刷します。

確認しておくべきこと

- 情報は、別売の外付けハードドライブ、フラッシュ ドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
- バックアップ中はコンピューターを外部電源に接続しておきます。
- 十分な時間の余裕があるときにバックアップを行います。ファイル サイズによっては、処理に 1 時間以上かかる場合があります。

- バックアップの実行前に、バックアップ用ストレージ デバイスに十分な空き領域があることを確認してください。
- 以下のような場合にバックアップを行ってください。
  - ソフトウェアまたはハードウェアを追加/変更する前
  - コンピューターを修復または復元する前
  - 自分が作成したり保存したりした情報をなるべく新しい状態で保管しておくために、定期的なスケジュールで
  - 多数のファイルを追加した後（例：誕生パーティーの動画を保存した後）
  - ウィルス対策ソフトウェアを使用して悪意のあるプログラムを削除する前
  - かけがえのない重要な情報（写真、動画、音楽、プロジェクト ファイル、データ レコードなど）を追加した後

Windows の[バックアップと復元]を使用したバックアップの作成

Windows では、Windows の[バックアップと復元]を使用してファイルをバックアップできます。個人用フォルダーからドライブまで、バックアップするレベルを選択できます。スペースを節約するためにバックアップは圧縮されます。バックアップするには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**バックアップと復元**]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップのスケジュール設定とバックアップの作成を行います。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

復元するには、34 ページの「Windows の[バックアップと復元]を使用した特定のファイルの復元」を参照してください。

復元

以前のシステムの復元ポイントへの復元

ソフトウェア プログラムをインストールすると、コンピューターまたは Windows が予測できない動作をすることがあります。多くの場合、ソフトウェアをアンインストールすると問題は修正されます。アンインストールしても問題が修正されない場合は、コンピューターを前の（以前のある日時に作成した）システムの復元ポイントに復元できます。

コンピューターが正常に動作していた復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。

3. [**システムの保護**]タブをクリックします。

4. [**システムの復元**]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

特定のファイルの復元

ファイルをハードドライブから誤って削除してしまってごみ箱からも復元できない場合や、ファイルが壊れてしまった場合は、特定のファイルの復元が有効です。特定のファイルの復元は、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して元のシステムを復元する場合にも役立ちます。特定のファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。

Windows の[バックアップと復元]を使用した特定のファイルの復元

Windows では、Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップしたファイルを復元できます。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**バックアップと復元**]の順に選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを復元します。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[HP Recovery Manager]を使用した元のシステムの復元

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に修復または復元できます。

確認しておくべきこと

- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードするかまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。
- システムの復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。復元ポイント（33 ページの「以前のシステムの復元ポイントへの復元」を参照してください）と一部の復元（34 ページの「特定のファイルの復元」を参照してください）をまだ試していない場合は、それらの手段を試してみてから[HP Recovery Manager]を使用してシステムを復元してください。
- コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合や、コンピューターの動作上の問題を修正しようとする試みがすべて失敗した場合は、システムの復元を実行する必要があります。
- リカバリ メディアが動作しない場合は、HP の Web サイトからお使いのシステムのリカバリディスクを入手できます。
- [最小限のイメージの復元]オプションは、詳しい知識があるユーザーのみにおすすめします。ハードウェア関連のすべてのドライバーおよびソフトウェアが再インストールされますが、その他のソフトウェア アプリケーションは再インストールされません。復元が完了するまで処理を中断しないでください。中断すると復元に失敗します。

HP 復元用パーティションを使用した復元（一部のモデルのみ）

HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用すると、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブなしでシステムを復元できます。このような復元は、ハードドライブがまだ動作している場合にのみ使用できます。

復元用パーティションの有無を確認するには、[**スタート**]を選択し、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順に選択します。復元用パーティションがある場合、ウィンドウにリカバリ ドライブが表示されます。

注記： 復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
   - [**スタート**]を選択し、検索フィールドに「recovery」と入力します。一覧から[**Recovery Manager**]（リカバリ マネージャー）を選択します。

     または
   - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。次に、画面に[F11 (System Recovery)]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
2. [**HP Recovery Manager**]ウィンドウの[**System Recovery**]（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

リカバリ メディアを使用した復元

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをお使いのコンピューターのオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   または

   お使いのコンピューターの USB コネクタにリカバリ フラッシュ ドライブを挿入してから、コンピューターを再起動します。

   注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更します。36 ページの「コンピューターのブート順序の変更」を参照してください。
3. システムの起動時に f9 キーを押します。
4. オプティカル ドライブまたはフラッシュ ドライブを選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

リカバリ ディスクを使用するためにブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを再起動します。
2. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
3. [Boot options]（ブート オプション）ウィンドウで、[**Internal CD/DVD ROM Drive**]（内蔵 CD/DVD ROM ドライブ）を選択します。

リカバリ フラッシュ ドライブを使用するためにブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. フラッシュ ドライブを USB コネクタに挿入します。
2. コンピューターを再起動します。
3. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
4. [Boot options]ウィンドウで、フラッシュ ドライブを選択します。

7 サポート窓口

サポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイド、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、または[ヘルプとサポート]で提供されている情報で問題が解決されない場合は、以下の HP サポート窓口または『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されているサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。

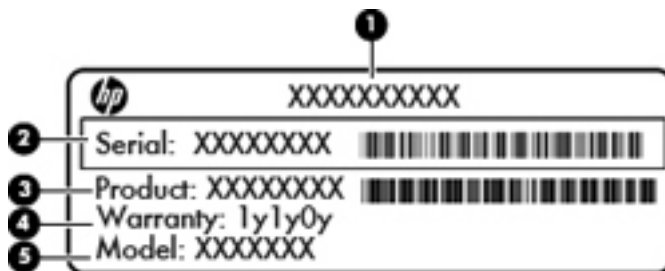
- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする。

注記： 特定の言語でサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- サポート窓口に電子メールで問い合わせる。
- 各国のサポート窓口の電話番号を調べる。
- HP のサービス センターを探す。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。

名称	
（1）	製品名
（2）	シリアル番号

名称	
（3）	製品番号
（4）	保証期間
（5）	モデルの説明（一部のモデルのみ）

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。お使いのモデルのコンピューターによっては、サービス ラベルは、コンピューターの裏面、バッテリ ベイ内、または底面カバーの裏面に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Microsoft Certificate of Authenticity は、バッテリ ベイの中に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線デバイスを 1 つ以上使用している機種には、認定ラベルが 1 つ以上貼付されています。無線認定/認証ラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。このラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。

8　仕様

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧と電流	18.5 V DC（3.5 A、65 W の場合）
HP 外部電源用 DC プラグ	

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系	U.S.
温度		
動作時	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～140°F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

索引